平成25年8月30日

各 位

会社名　　鴻池運輸株式会社
代表者名　　代表取締役社長 鴻池 忠彦
（コード番号：9025　東証第一部）
問合せ先　　総務部長　藤原　治
TEL.　　06-6271-4600（代表）

企業価値向上の取り組みについて

当社は、かねてより企業価値向上の取り組みを行っておりますが、株主の皆様に当社経営方針の一層のご理解を頂くため、以下の通りご説明申し上げます。なお、詳細は添付資料をご参照下さい。

１．ROEの向上についての取り組み

（1）業績計画および目標

当社では、「エクスプレス計画Vol.2　2012年度～2014年度」（以下、「中期経営計画」という）を策定し、現在2年目として実行中であります。また、当社が創業140周年を迎える2020年度には売上高3,500億円、営業利益200億円、ROE9.6%を達成することを目標と致しております。

	2014年度（計画）	2017年度（目標）	2020年度（目標）
売上高（億円）	2,356	3,000	3,500
営業利益（億円）	96	150	200
ROE(%)	7.2%	8.7%	9.6%

当社が現在取り組んでいる10のサービス分野のうち、中期経営計画におきましては、以下の4つの事業を最注力4分野と位置づけ、重点的に強化することを企図しています。したがって、設備投資やM&Aについても、最注力4分野を中心に積極的に行う方針です。

※ 10分野のサービス：生産工程サービス、一般物流サービス、定温物流サービス、国際物流サービス、ファッション&アパレルサービス、医療関連サービス、空港関連サービス、環境関連サービス、エンジニアリングサービス、エコエネルギーサービス

<最注力4分野>

① 医療関連サービス
② ファッション&アパレルサービス
③ 空港関連サービス
④ 定温物流サービス

（2）経営の効率化

当社では、中期経営計画の達成に向け、以下の経営の効率化をさらに推進してまいります。

① 営業力の強化を狙った現場組織の改編

② 本社機能強化の為の組織再編

③ 売上原価・販売費および一般管理費の削減

2．株主還元の充実

当社では、各事業年度の業績、財務体質の強化、中長期事業戦略などを総合的に勘案して、内部留保の充実を図りつつ、継続的に安定的な配当を目指すことを配当政策の基本方針として参りました。

今後はこの方針に加えて、企業価値向上の成果を還元させて頂くことで、更に株主の皆様に支援して頂けるよう、業績・収益状況に対応した配当を実現しつつ、企業価値の一層の充実をはかりたいと考えており、配当性向を今後3年間で概ね30%程度まで高めることを目標としております。各年度の目標は下記の通りです。

2012年3月期 （実績）	9.2%
2013年3月期 （実績）	9.5%
2014年3月期 （目標）	20.0%
2015年3月期 （目標）	25.0%
2016年3月期 （目標）	30.0%

中期経営計画の更なる詳細につきましては、11月に予定しております平成26年3月期第2四半期決算発表時に改めてご説明申し上げます。

以 上

本発表において提供される資料および情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、発表日現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。したがって、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがありえます。

また、今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

企業価値向上の取り組みについて

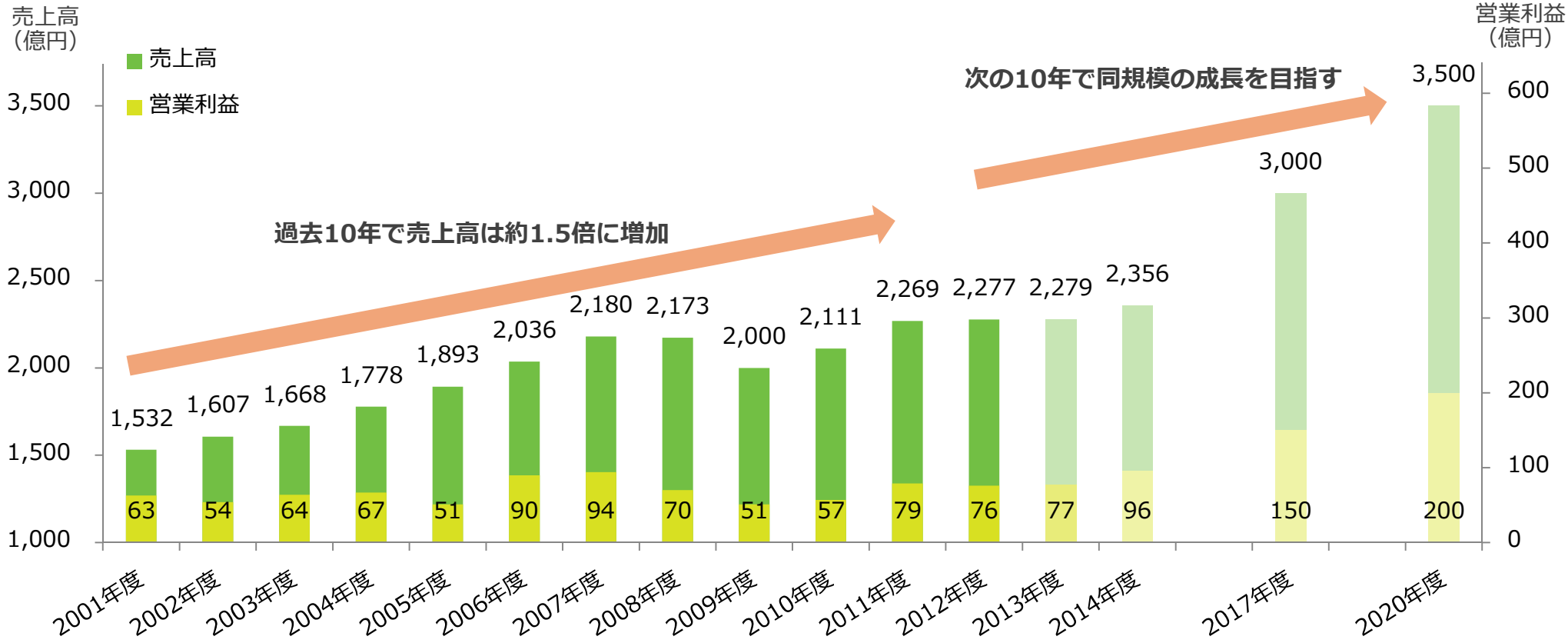
補足説明資料

平成25年8月30日

KONOIKE GROUP

1．中長期計数・業績計画

- 当社では、「エクスプレス計画Vol. 2　2012年度～2014年度」（中期経営計画）を策定し、現在2年目として実行中です。
- 当社が創業140周年を迎える2020年度には売上高3,500億円、営業利益200億円、ROE9.6%の達成を目標としております。



年度	今年度 エクスプレス計画Vol.2 第2年度	2014年度 エクスプレス計画Vol.2 最終年度	2017年度 次期中期経営計画①	2020年度 次期中期経営計画② （創業140周年）
売上目標	2,279億円	2,356億円	3,000億円	3,500億円
営業利益目標	77億円 (3.38%)	96億円 (4.07%)	150億円 (5.00%)	200億円 (5.71%)
ROE目標	5.9%	7.2%	8.7%	9.6%

Copyright © KONOIKE TRANSPORT CO.,LTD. ALL Rights Reserved

1．中長期計数・業績計画

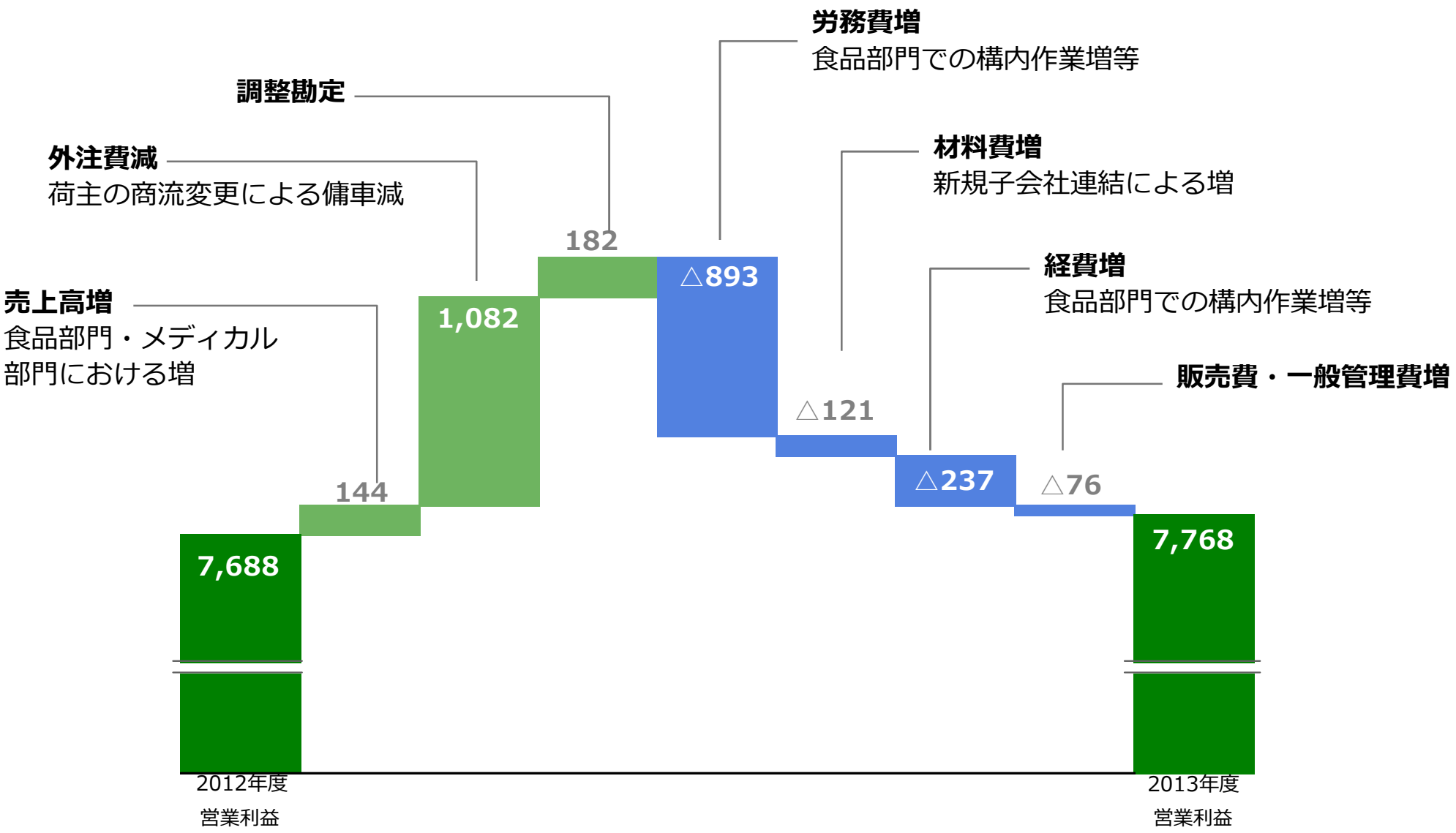
[1] 2013年度・2014年度　分野別売上高予想・計画概要

（百万円）	2012年度 実績		2013年度 予想		前期比		2014年度 計画		前期比	
	通期	構成比	通期	構成比	増減額	増減率	通期	構成比	増減額	増減率
売上高	**227,749**	**100.0%**	**227,931**	**100.0%**	**182**	**0.1%**	**235,687**	**100.0%**	**7,756**	**3.4%**
鉄鋼関連	**54,310**	**23.8%**	**51,229**	**22.5%**	**△ 3,081**	**-5.7%**	**53,382**	**22.6%**	**2,153**	**4.2%**
食品関連	**61,615**	**27.1%**	**60,973**	**26.8%**	**△ 642**	**-1.0%**	**63,110**	**26.8%**	**2,137**	**3.5%**
生活関連	**65,680**	**28.8%**	**66,861**	**29.3%**	**1,181**	**1.8%**	**69,707**	**29.6%**	**2,846**	**4.3%**
生活業務	20,539	9.0%	15,886	7.0%	△ 4,653	-22.7%	15,914	6.8%	28	0.2%
空港業務	10,030	4.4%	9,610	4.2%	△ 420	-4.2%	10,049	4.3%	439	4.6%
メディカル業務	7,344	3.2%	9,576	4.2%	2,232	30.4%	10,214	4.3%	638	6.7%
流通・アパレル業務	27,765	12.2%	31,787	13.9%	4,022	14.5%	33,528	14.2%	1,741	5.5%
定温関連	**17,063**	**7.5%**	**17,834**	**7.8%**	**771**	**4.5%**	**18,143**	**7.7%**	**309**	**1.7%**
海外関連	**29,078**	**12.8%**	**31,030**	**13.6%**	**1,952**	**6.7%**	**31,344**	**13.3%**	**314**	**1.0%**

	2013年度 予想（※ 一部事業所の所管変更あり）	2014年度 計画
鉄鋼関連	主要鉄鋼メーカー様の効率生産のための技術革新を講じるものの、外需の回復遅れや事業環境の変化等により、減収見込み （セグメント変更による影響額　△6億74百万円）	① 2013年度開始の東北地方震災復興関連事業参入による売上増加 ② 中部・中国・九州地区等における新規顧客開拓による売上増加 等により、増収見込み
食品関連	主要食品メーカー様の飲料製品の生産量増加に伴う保管・輸送量の増加をはじめ、ハム・ソーセージや乳製品の保管・輸送量増加により、実質増収見込み （セグメント変更による影響額　△25億3百万円）	① 新規開設する神奈川綾瀬営業所自動倉庫増設による売上増加 ② 中京地区に新設する大型センター開設による売上増加 ③ 主要食品メーカー各社様の製造請負業務深耕化による売上増加 等により、増収見込み
生活関連	流通・アパレル業務のアパレル品やメディカル業務での医療機器取扱量増加も、生活業務の場内保全業務や、空港業務の取扱便数減等により、実質減収見込み （セグメント変更による影響額13億97百万円）	① 厚木の第２センター建替等によるアパレル業務の売上増加 ② 新規開設した鳥栖市のセンター等でのメディカル業務拡大 ③ 空港業務の取扱空港・便数の拡大　④ 省エネ設備施工販売事業等エコ関連事業の売上拡大、等により増収見込み
定温関連	加工・チルド食品の保管量減少により減収見込み （セグメント変更による影響額11億6百万円）	① 仙台食品流通センターの新規開設による売上増加 ② 他社との業務提携による定温物流ネットワーク強化 等により、増収見込み
海外関連	米国現地法人での食肉や果物、大型設備輸送取扱量、タイでの定温物流業務の伸長により、増収見込み （セグメント変更による影響額6億74百万円）	① 北・中南米地域での新規拠点開設　② 東南アジア地域でのサービス拡充　③フォワーディング事業者買収 等により、増収見込み

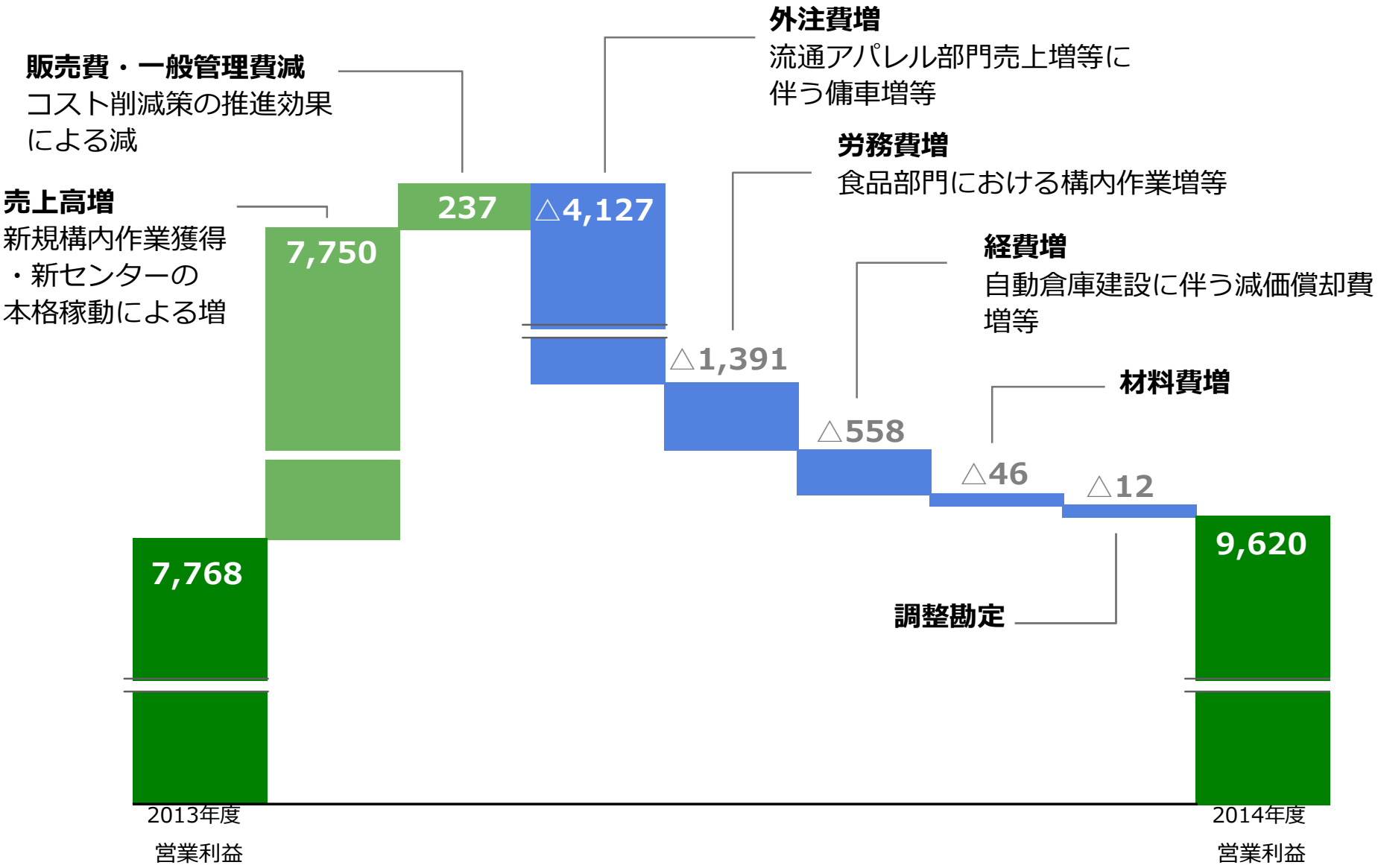
Copyright © KONOIKE TRANSPORT CO.,LTD. ALL Rights Reserved

［2］2013年度　連結営業利益予想の増減分析　（単位：百万円）



Copyright © KONOIKE TRANSPORT CO.,LTD.　ALL Rights Reserved

［3］2014年度　連結営業利益計画の増減分析　（単位：百万円）



Copyright © KONOIKE TRANSPORT CO.,LTD. ALL Rights Reserved

「エクスプレス計画Vol.2　2012年度～2014年度」(中期経営計画）達成の為の成長戦略

● 中期経営計画においては、以下の４つの事業を最注力分野と位置づけ、重点的に強化してまいります。

	注力分野・施策	医療関連	ファッション&アパレル	空港関連	定温・食品事業	【新規事業】
	国内経営基盤の強化	● 鳥栖メディカル流通センターをモデルとした「医療物流ネットワーク」の全国展開	● 厚木流通センター 第二センター建替	● 国内取扱空港の拡大	● 関東における定温物流事業の強化 ● 飲料物流ネットワーク再編	
	グローバル展開の加速	● インドでの合弁会社設立【本日発表】 ● 外国人介護スタッフの養成事業の拡大	● 海外生産地から国内店舗までの一貫サービスの提供	● 海外空港に於ける請負業務への進出	● 特に米国・ベトナムにおける定温物流のインフラ拡大	● ベトナム等ASEAN諸国での鉄鋼関連業務への参入
	M＆A事業提携の検討	● 広域輸配送事業会社との提携拡大	● 一貫物流サービス強化に繋がる企業との業務提携（サービスの補完と営業力の増強）	● 機内食・エネルギー供給業務など請負業務範囲の拡大	● 他社との業務提携による定温物流全国ネットワークの拡充	● アジア域内内陸輸送の商品化**【海外事業本部】**
	物流の枠を越えて挑戦	● 高度管理医療品輸送サービスのビジネスモデル確立（再生医療・検体・ワクチン等）			● 海外での飲料生産事業への進出	● 国内、及び、海外に於ける農業ビジネスへの参入 ● 再生可能エネルギー（バイオマス）の事業化

Copyright © KONOIKE TRANSPORT CO.,LTD. ALL Rights Reserved

2．「エクスプレス計画 Vol.2」最終年度にむけての重点施策

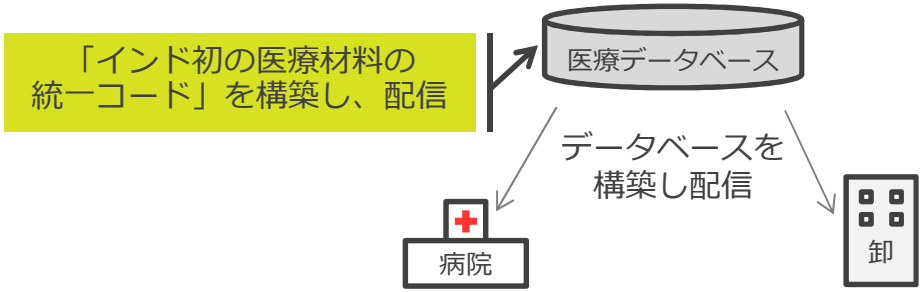
[1] 医療関連サービス HOSPITAL LOGISTICS

- 国内では、提案型医療物流センター業務の拡大、高度メディカル輸送の推進、介護人材紹介斡旋サービスの推進。
- 海外では「ASEAN＋インド」をターゲットに、フィリピンでの介護人材養成、インドでのホスピタルロジスティクスを展開。

1 インドで合弁会社設立 **本日発表**

※ 現地関連当局認可等前提

インドにおける医療関連サービス展開の基礎固めとして、メディアスホールディングス株式会社と合弁会社を設立予定※



【事業展開の構想】

[Phase 1] 医療データベースの構築＆配信、及び、コンサル **（現在）**

[Phase 2] インドにおける医療ＳＣＭネットワークの構築

2 佐賀県鳥栖市のメディカル流通センターでの業務請負 **医療機器センターとして最大規模**



- 同センターでの構内物流業務、及び、九州・中国地区各営業拠点までの配送業務を請負
- 現状の医療機器から、2013年10月以降は医薬品を配送品目に加え、取扱範囲を拡大
- 更に、将来的には「医療物流ネットワーク」の全国展開を計画

Copyright © KONOIKE TRANSPORT CO.,LTD. ALL Rights Reserved

2．「エクスプレス計画 Vol.2」最終年度にむけての重点施策

3 高度管理医療品輸送サービス

業界最高レベルの輸送品質

品質管理・トレーサビリティー等が求められる再生医療品・検査検体・ワクチン等の輸送サービス



※ パートナー企業様との共同企画

- 7温度帯（+18℃ +5℃ -2℃ -5℃ -10℃ -18℃ -25℃）より選択し、一定温度にコントロール可能（48時間）
- クラウドモデル・スマートフォン・RFIDの使用によるトレースシステム（温度・湿度・衝撃の履歴管理＆現場でのリアルタイム判定可能）、GPS機能搭載予定
- WHO（世界保健機関）のガイドライン「感染性物質の輸送規則に関するガイダンス」遵守

4 外国人介護スタッフの養成事業



- 政府が進めるＥＰＡ介護福祉士候補者の受入れとは別に、日系フィリピン人を対象に、当社が独自に展開する介護スタッフ事業。
- セブドクターズ大学と提携し、養成した介護スタッフを日本の介護施設へ紹介・斡旋。年間150名。
- 将来的にEPAの枠組みが拡大すれば、養成事業から派遣事業に拡大。

Copyright © KONOIKE TRANSPORT CO.,LTD. ALL Rights Reserved

2．「エクスプレス計画 Vol.2」最終年度にむけての重点施策

［2］ファッション&アパレルサービス

1　厚木流通センター　第２センター建替　　**本年5月竣工**



【特長】

1.「eコマース（電子商取引）をフルサポート」

- センター内に商品撮影ができる撮影スタジオを設置し、eコマースに必要な作業を当センター内でまとめて実施可能

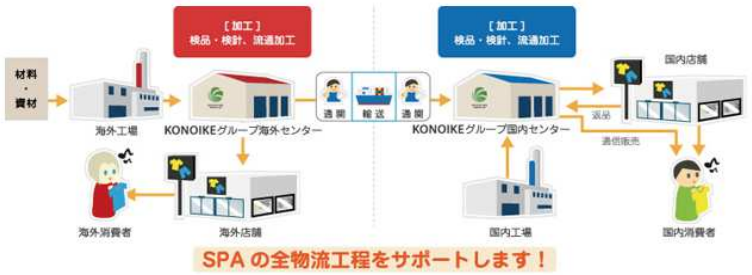
2.「検品から縫製、補修までファクトリー機能を完備」

- 縫製検品、X線検針、値札付け、ブランドタグ付け、付属品付け、ハンガー付け、ミシン掛け、商品補修など幅広い作業に対応可能

3.「海外工場から国内店舗配送までの一貫サポートにより最短日数で配送」

- 海外からの材料や製品の輸送から、通関、店舗配送に至るまで一貫してサポートすることで、海外工場から国内店舗まで最短日数で商品をお届け。
  (例：バングラデシュから国内店舗までの所要日数を、従来の約1.5か月から約19日に短縮)

POINT
・海外生産地から国内店舗まで、一貫したアパレル物流に対応
・永年の実績とノウハウにより、SPAパートナーとしてハイクオリティなサービスを提供



ファッション&アパレルサービスメニュー



2　一貫物流サービス強化に繋がる企業との業務提携　　**提携立案中**

- お客さまの海外工場から店舗までの一貫したアパレル物流サービスを補完するノウハウを持つ企業との業務提携を検討中
- 当社のファッション＆アパレルサービスを更に発展させるため、アパレル業界に対して高い営業力を有する企業との業務提携を準備中

Copyright © KONOIKE TRANSPORT CO.,LTD.　ALL Rights Reserved

2．「エクスプレス計画 Vol.2」最終年度にむけての重点施策

［3］ 空港関連サービス

1 空港での取扱業務拡大







現状の取扱業務

- 旅客業務：チェックインカウンターでの搭乗手続き、ゲートでのご案内等
- 航務業務：飛行ルートや最新の気象など必要な情報を提供や、発着工程管理等
- ランプサービス業務：滑走路での航空機の誘導や、貨物の搭降載業務等
- 機体サービス業務：航空機内のクリーニング、機用品の確認・交換から汚水処理等
- 航空貨物取り扱い業務：コンテナやパレットへの貨物の積み付け等
- マナー研修：接遇のノウハウを活かして、企業向けのマナー研修を開催
- バゲージラッピングサービス：ストレッチフィルムで手荷物を包装
- 関西エアポートバゲージサービス：手荷物の宅配、手荷物などの一時お預かり

機内食業務・エネルギー供給業務など新たな取扱業務の追加を検証中

2 取扱空港の拡大

- 業務受託を行う空港を、まずは日本全国の空港に拡大
- 将来的には、海外の空港にもトライしていく





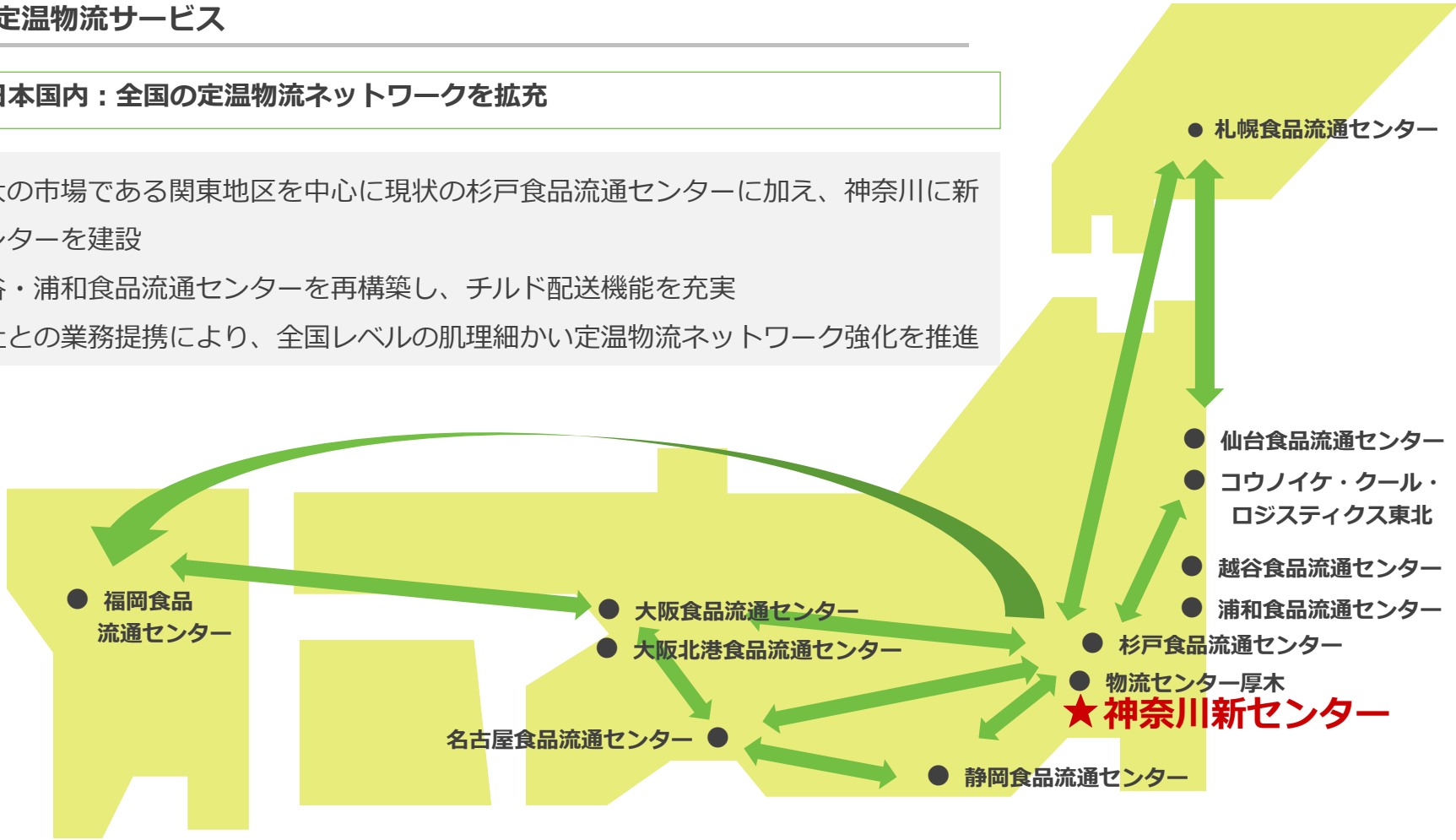
Copyright © KONOIKE TRANSPORT CO.,LTD. ALL Rights Reserved

2．「エクスプレス計画 Vol.2」最終年度にむけての重点施策

［4］定温物流サービス

1 日本国内：全国の定温物流ネットワークを拡充

- 最大の市場である関東地区を中心に現状の杉戸食品流通センターに加え、神奈川に新センターを建設
- 越谷・浦和食品流通センターを再構築し、チルド配送機能を充実
- 他社との業務提携により、全国レベルの肌理細かい定温物流ネットワーク強化を推進



2 海外：定温物流サービスの更なる展開

- 現在世界7拠点（アメリカ4拠点、中国1拠点、ベトナム1拠点、タイ1拠点）で展開する定温物流サービスを、特に当社が強みを有する米国およびベトナムにおいて更に積極的に展開予定。

Copyright © KONOIKE TRANSPORT CO.,LTD. ALL Rights Reserved

2．「エクスプレス計画 Vol.2」最終年度にむけての重点施策

［5］ 成長戦略を支える新センター

鳥栖メディカル流通センター営業所



機能	メディカル流通センター
竣工	2012年10月

相模食品流通センター



機能	食品共同配送センター
竣工	2012年10月

仙台食品流通センター営業所



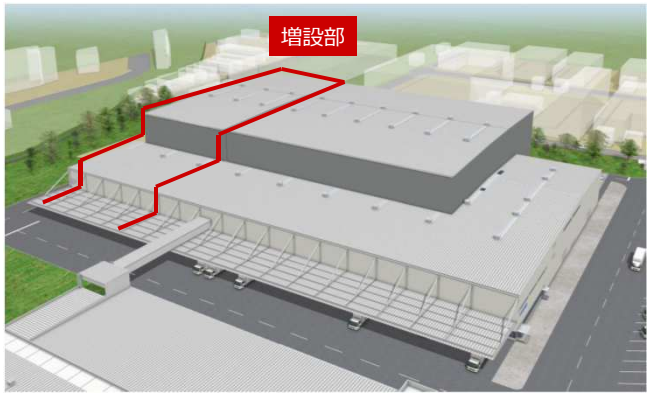
機能	冷凍冷蔵倉庫
竣工	2013年3月

厚木流通センター営業所



機能	アパレル専用センター
竣工	2013年5月

神奈川綾瀬営業所自動倉庫増設



機能	ラック式自動倉庫 (19,000PL増)
竣工	2014年3月

港湾設備（ﾄﾗﾝｽﾛｰﾄﾞﾄﾞｯｸ）増設（米国）

建設予定

機能	ﾄﾗｯｸ⇔ｺﾝﾃﾅｰ間の荷物積替用設備を増設
竣工	2014年

Copyright © KONOIKE TRANSPORT CO.,LTD. ALL Rights Reserved

［５］ 成長戦略を支える新センター

中京　新センター



関西　新センター
（物件検討中）

関東　新センター
（物件検討中）

２０１５年までに関東・中京・関西に
ＢＣＰ対応の大型倉庫を開設し、
食品物流ネットワークを構築予定

Copyright © KONOIKE TRANSPORT CO.,LTD. ALL Rights Reserved

2．「エクスプレス計画 Vol.2」最終年度にむけての重点施策

[6] 経営の効率化

● 当社では、成長戦略への取り組みと同時に、以下の経営の効率化をさらに推進してまいります。

1．営業力の強化を狙った現場組織の改編

2．本社機能強化の為の組織再編

3．売上原価・販売費および一般管理費の削減

[7] 目標配当性向

● 当面、配当性向30%を目指すべく、今後3年間配当額を逓増させるよう努力してまいります。

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
配当性向	9.5%	20.0%	25.0%	30.0%

Copyright © KONOIKE TRANSPORT CO.,LTD. ALL Rights Reserved

注意事項

中期経営計画の更なる詳細につきましては、
11月に予定しております平成26年3月期第2四半期決算発表時に改めてご説明申し上げます。

本発表において提供される資料および情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、発表日現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。したがって、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがありえます。

また、今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

Copyright © KONOIKE TRANSPORT CO.,LTD. ALL Rights Reserved